

平成27年度 大阪市立東三国中学校 《第2回学校協議会》

日時 平成27年10月31日（土）14時～

場所 大阪市立東三国中学校 図書館

次 第

司会 宗 会長

開会のことば 宗 会長

淀川区長あいさつ 榊 区長

学校長 あいさつ（校長経営戦略予算 加算配布について）

○本校の教育の進捗状況

安達 教務主任（視点 学力の向上）

福崎 教頭（視点 道徳性・社会性の育成）

堀畑 教務主任（視点 体力の向上）

協議会委員より

閉会のことば

【平成 27 年度 第 2 回 学校協議会 資料】

大阪市立東三国中学校 平成 27 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

平成 27 年 10 月 30 日 学校長

1 学校運営の中期目標（今年度末にアクションプラン 3 年間の中期目標の総括）

【視点 学力の向上】・・・自己実現できる学力をつける

○ICT 化した指導を定着させ（目標指標・学校アンケート等肯定率 70%）

※「プロジェクター型デジタル教材使用授業」を全教科に展開

○国語・数学における学力の定着（目標指標・全国学力調査平均値）

※ A 問題は 2 年連続全国平均程度達成（恒常的な学校の安定⇒学力継続的向上）

○英語力の向上（目標指標・英検 3 級程度 30%）⇒H25・17% H26・23%

○すべての授業満足度を向上させる。（目標指標・学校アンケート等肯定率 70%）

※ 授業アンケート（H26 年度結果）55%（肯定的回答）

カリキュラム改革関

【視点 道徳性・社会性の育成】・・・安心できる「情のある」教育環境をつくる

○規律ある安定した学校を構築するために「段階的生活指導（alternative guidance room を活用した指導）」および、マルチレベルアプローチを導入し、自尊感情の向上を目指す。

※指導の両輪

（ソフト面）①マルチレベルアプローチ指導（ハード面）②規範意識の醸成

○適応しやすい学校環境をつくるための指導体制を構築する。

※心理専門職を含めたチームづくり（SC・SSW など）※家庭訪問の強化

※適応指導室（保健室・支援学級・和室）・ガイダンスサポーターの指導

（目標指標・学校アンケート等肯定率 70%）

マネージメント関連・カリキュラム改革関連

【視点 健康・体力の保持増進】・・・踏ん張りのきく体力をつける

○生徒の体力を全国平均程度に定着させる。（目標指標・全国体力調査平均値）・カリキュラム改革関連）※3 年連続全国平均より男女とも上（全国体力 H27 は未）

※中期目標はおおむね達成しつつあるが、「言語リテラシーの能力向上」・「生徒の自尊感情の向上」

・「朝食習慣の定着」・「不登校生の指導」の点で平成 27 年度後期は重点を置く。

【視点 学力の向上】・・・自己実現できる学力をつける

- 授業力向上のための教員研修を積極的に実施する。（学校アンケート肯定率70％）
 - ⇒ 授業参観週間 教員研修など実施中（全教員の授業参観）
- 国語・数学の知識に関する問題Aの正答率を全国平均値に近づける。 評定値3.28
 - ⇒ 国語A±0 数学A+1.6 数学B+4.6 国語B-4.2 理科-1.3 総平均 +0.1
 （国語B・活用に課題。全国生徒質問紙調査では言語活動・読解力は府平均程度）
- 参考・・・学習習慣において課題（○家で計画学習 全国48.8 本校32.2）
 （○塾など 全国58.6 本校44.1 ○宿題 全国89.4 本校81.8） 学校での学習効果
- 3年生の英検3級程度30％を目指す。
 - ⇒ 11月に英語能力判定テスト（3年）・H25・17％ H26・23％
 「ドメスティック化とグローバル化の平行教育」（英語と地域重視）
- プロジェクター活用のICT活用授業を活性化（学校アンケート肯定率50％）。
 - ⇒ 英語科において全授業でデジタル教材使用。
- 卒業時の進路保障においてきめ細かな指導を推進し、100％生徒が進路決定できるよう努力する。⇒プロの面接指導。面接練習用DVD作成予定。個に応じた指導 結果は3月に
 東三国ブランドの構築（メリハリのある人材育成）

【視点 道徳性・社会性の育成】・・・安心できる「情のある」教育環境をつくる

- 「規範意識の醸成（段階的生徒指導基準）」⇒4月に規範表配布
 「生徒が協働できる集団づくり（SEL・協同学習・ピアサポートなど）」などを積極的に導入し「秩序があり生徒の過ごしやすい学校づくり」を目指す。（学校アンケート等肯定率70％）
 ⇒マルチレベルアプローチ研修（1）6月に実施 あと2回の予定
 総社市「だれでも行きたくなる学校づくり」研修会（8月）に参加。11月予定
 品格教育実施（10月より）・協同学習の取組み
 「段階的生活指導基準」4月に配布⇒現在まで運用なし
- ※校内での問題行動は減少・授業や行事の雰囲気は良い。メリハリの利く行動を実行
 しかしながら、全国生徒質問紙調査では規範意識・自尊感情低い（昨年度比-10p）
 主体的な思考・行動より受動的になってはいないか？（やらされ感・・・）
- 積極的に学校支援ボランティアを活用し、本校教育を活性化させる。
 - ⇒学校元気アップボランティア（470名登録）・ジュニアリーダー発足（生徒）
 「情働の環流」の学校づくり
- さまざまな理由で学校環境に適応しにくい生徒のサポートを積極的に行う。
 - ⇒適応指導室（保健室・支援学級・和室）・ガイダンスサポーターの指導
 （マルチレベルアプローチ指導で学校適応を）⇒後期に

【視点 健康・体力の保持増進】・・・踏ん張りのきく体力をつける

- 朝食習慣については摂取率を全国平均値程度になるよう啓蒙を語る。（学校アンケート肯定率等70％） 体力指標を全項目全国平均程度・・・カリキュラム改革関連
 ⇒朝食習慣は全国平均より低い（全国生徒質問紙調査 毎日朝食 全国83.8 本校73.1）